

前立腺癌ホルモン療法における hot flushに対する漢方治療の有用性

日高病院 泌尿器科¹⁾

東葛病院 泌尿器科²⁾

大野クリニック³⁾

○福間 裕二¹⁾、小澤 雅史²⁾、大野 修嗣³⁾

前立腺癌ホルモン療法中における hot flush に対して、漢方薬が有用であるという報告例は、桂枝茯苓丸を中心に、当帰芍薬散、加味逍遙散、柴胡桂枝乾姜湯、茵陳五苓散などで多数存在するが、複数の方剤を組み合わせる hot flush の改善を見た報告例は少ない。昨年本研究会教育講演において、癌研有明病院星野惠津夫先生より、四診の中でも特に腹診中心にした診察を行い、複数の方剤（補気剤・補血剤・駆瘀血剤・補腎剤・柴胡剤）を組み合わせることにより、癌治療の QOL を改善できることが示された。特に、前立腺癌ホルモン療法における hot flush に関しては、駆瘀血剤と柴胡剤の併用が有効であり、特に桂枝茯苓丸と大柴胡湯の併用が有効である症例が多いとのことであった。

昨年の本研究会終了後、演者は癌研有明病院漢方サポート外来を見学する機会を得て、四診を基礎に、腹診の所見を鑑みた方剤決定に関して御指導を頂いた。これを踏まえ、当院で桂枝茯苓丸を hot flush に使用し効果が不十分であった患者に対し、大柴胡湯を使用し、hot flush が著明に改善した 2 例について報告する。